

REALFORCE

取扱説明書



E13C1HJ11JP-Rev1

はじめに

このたびは、REALFORCE キーボードをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書ではキーボードの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載して
います。ご使用にあたっては、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にお使いください。

システム要件

Bluetooth 接続

- Windows 11~
- macOS 14.5~
- iOS 17.5~
- iPad OS 17.5~
- Android 14.0~

Bluetooth 接続の場合は、使用する接続機器が Bluetooth4.0 以降をサポートしていること。

USB 接続

- Windows 11~
- macOS 14.5~

仕様

スイッチ方式	静電容量方式
ストローク	4.0mm
インターフェース	USB 2.0、Bluetooth Ver 5.0
電源 (USB 接続時)	DC5V、500mA(MAX)
ケーブル長	約 1.8m
キーボード 外形寸法、重量	295mm (幅) ×130mm (奥行) ×39mm (高さ)、約 0.6kg
電池容量	3.7V — 720 mAh
動作時間	電池動作時、満充電状態からの目安 約 1 ヶ月 (当社環境でのテスト値であり保証値ではありません。)
充電サイクル	約 300 回
充電時間	約 4 時間 (0%⇒100% までの目安時間となります)
* 電池の動作時間・充電サイクル・充電時間は目安です。使用環境などにより異なります。	

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを
確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不品、破損品などがありま
したら、REALFORCE カスタマーセンターまでご連絡ください。

☐キーボード本体

.....×1

☐取扱説明書 (本書)

.....×1

☐USB ケーブル (Type C to A)

.....×1

1

機能	LED の状態
ペアリングモード	青点滅 (ゆっくり)
ペアリング待ち	青点滅 (指定したスロット番号と同じ回数だけ青点灯)
接続待ち	USB：緑点灯 Bluetooth：青点灯
接続完了	USB：緑点灯 (その後消灯) Bluetooth：青点灯 (その後消灯)
接続中スロット確認	接続しているスロット番号と同じ回数だけ青点灯 (その後消灯)
電源オフ	黄点灯 (その後消灯)
電池残量目安の確認	残量に応じて点灯 (その後消灯) 30% 以上：緑 10% 以上：黄 10%未満：赤
充電中	橙色に点灯
バッテリーアラート	赤点滅 (10 秒に 1 回)
エコモードの確認 / 設定切替	緑点灯 (その後消灯) OFF は赤点灯
キーマップの切替時	設定した番号と同じ回数だけ水色点灯 (その後消灯)
APC 設定の切替時	設定した番号と同じ回数だけ紫色点灯 (その後消灯)
設定保存	白点灯で点灯 (その後消灯)

3

キーボードを使用する (Bluetooth 接続)

本製品と、使用する機器を Bluetooth で接続します。
Bluetooth USB アダプターを使用する場合は、Bluetooth USB アダプターの取扱説明書を参照して、
Bluetooth 機能を使用できる状態にしてください。
※接続作業を行う前に必ず本製品とパソコン本体を USB 接続してください。

1. ペアリングを開始する
- 本製品、および使用する機器の両方に、お互いの情報を登録して通信できる状態にすることを
ペアリングといい、ペアリングを行った機器同士を接続することで、機器の利用が可能になります。
本製品は、使用する機器のペアリング情報を 4 台まで、ペアリングスロット 1〜4 として登録
できます。ペアリング情報を複数登録しておくと、使用する機器を簡単に切り替えられます。
※接続作業を行う前に必ず本製品とパソコン本体を USB 接続してください。

はじめに接続する

本製品の電源スイッチを押します。
⇒ 電源がオンになり、自動的にペアリング
番号 1 でのペアリングを開始します。
このとき、LED インジケータは青色に
点滅します。

使用する機器を追加する

1. 本製品の電源スイッチを押します。
⇒ 電源がオンになります。

2. Fn を押しながら P を押します。

Fn

+



⇒ ペアリングモードに移行し、LED インジケ
ータは青色に点滅します。

3. Fn を押しながらペアリング情報を登録する
スロットの数字キー (1〜4 のいずれか 1 つ)
を押します。

Fn

+

1

2

3

4

⇒ ペアリングが開始し、LED インジケータは
青色に点滅します。
使用する機器のペアリング情報は、指定した
ペアリングスロットに登録されます。

ペアリング情報がすでに登録されている
スロットを指定した場合、あとで登録した
機器が有効になります。

2. キーボードを接続する

本製品および使用する機器に、お互いの情報を登録して本製品と機器を接続します。

Windows® 11

1. スタートメニューの「設定」をクリック
します。
⇒ 「Windows の設定」画面が表示されます。

2. 「デバイス」をクリックします。
⇒ 「Bluetooth とその他のデバイス」画面
が表示されます。

3. 「Bluetooth またはその他のデバイスを追加
する」をクリックします。
⇒ 「デバイスを追加する」画面が表示され
ます。

4. 「Bluetooth」をクリックします。

5. 「RC1_n (*1)」をクリックし、
[次へ] ボタンをクリックします。

6. 表示されているペアリング用の数字を
本製品で入力し、Enter を押します。
⇒ 接続が完了します。

macOS

オペレーティングシステムのバージョンに
よってメニュー名や画面名は異なります。

1. 「Apple」メニューの「システム環境
設定」→「Bluetooth」をクリックします。
⇒ 「デバイス」画面が表示されます。

2. 「RC1_n (*1)」をクリックし、
[接続] ボタンをクリックします。

3. 表示されているペアリング用の数字を本製
品で入力し、Enter を押します。

4. [接続] ボタンをクリックします。
⇒ 「接続されました」と表示されたら、接続
が完了します。

5. 「キーボード設定アシスタント」画面が表示
された場合は、[続ける] をクリックします。

6. 表示される画面の指示に従って操作します。

7. 「キーボードの種類を選択」が表示されたら、
「JIS (日本語)」を選択し、[完了] ボタンを
クリックします。

Android™

使用する機器によってメニュー名や画面名は
異なります。

1. 「設定」→「接続済みの端末」をタップします。

2. 「新しいデバイスとペア設定する」を
タップします。

3. 「RC1_n (*1)」をタップします。

4. 表示されているペアリング用の数字を
本製品で入力し、Enter を押します。
⇒ 「RC1_n」に「接続済み」と表示され
たら、接続が完了します。

iOS / iPadOS

iOS または iPadOS のバージョンによってメ
ニュー名や画面名は異なります。

1. 「設定」→「Bluetooth」をタップします。

2. 「Bluetooth」をオンにします。

3. 「RC1_n (*1)」をタップします。

4. 表示されているペアリング用の数字を本
製品で入力し、Enter を押します。
⇒ 「RC1_n」に「接続済み」と表示され
たら、接続が完了します。

*1: n にはペアリング情報を登録するキーの数字 (1〜4) が表示されます。
RC1 の文字列部分は、専用ソフトウェアを使って変更することができます。
⇒ ペアリング用の数桁の数字が表示されます。

機器との接続が失われた場合は再接続を行ってください。複数のペアリング情報が登録されてい
るときに接続先を切り替える場合は、「機能キー」を参照して、接続先の切替操作を行ってくだい。

機能キー	
キー操作	動作
Fn + 	ペアリングモード開始
Fn + 	ペアリングモード解除
Fn + 1	ペアリングモード中：スロット 1 ペアリング開始 接続中：スロット 1 の機器へ接続する。登録が無い場合はペアリング開始
Fn + 2	ペアリングモード中：スロット 2 ペアリング開始 接続中：スロット 2 の機器へ接続する。登録が無い場合はペアリング開始
Fn + 3	ペアリングモード中：スロット 3 ペアリング開始 接続中：スロット 3 の機器へ接続する。登録が無い場合はペアリング開始
Fn + 4	ペアリングモード中：スロット 4 ペアリング開始 接続中：スロット 4 の機器へ接続する。登録が無い場合はペアリング開始
Fn + USB	USB へ接続開始
Fn + 	ペアリングモード中：ペアリング情報を全削除
Fn + 	接続中のスロットを LED インジケータで確認
Fn + 	電池残量を LED インジケータで確認
Fn + Eco	エコモード切り替え * Lv1 ⇒ Lv2 ⇒ Lv3 ⇒ Lv4 ⇒ Lv1 ⇒ ...
Fn + Save	変更した設定を保存 * 設定を保存すると電源を入れ直しても設定が保持されます。
Fn + 	消音
Fn + 	音量ダウン
Fn + 	音量アップ
Fn + 1 ~ 4	APC * 工場出荷時の状態は設定 3 となっており、設定 1 (全キー 0.8mm)、設定 2 (全キー 1.5mm)、設定 3 (全キー 2.2mm)、設定 4 (全キー 3.0mm) で設定されています。専用アプリケーションで各キーごとにカスタム可能です。
Fn +  ~ 	キーマップ * 工場出荷時の状態はキーマップ設定 1 です。
Fn + S + M	シンプルモード有効 / 無効切替え シンプルモードは、専用アプリケーションや N キーロールオーバー、マルチメディアキーが使えない、シンプルな キーボードとしてのモードです。初期状態では、無効となっています。切替え時には LED が白点灯します。 * USB 接続時に長押し
*1) シンプルモードの切替に使う Fn キーは、キーマップ入替に随わず、Fn が登録されたキーを使用します。	
7	

エコモード

本製品は省電力機能が搭載されており、4 段階のエコモードで動作を選択します。
使い方に合った設定にすることで、電池の節約が可能です。

エコモード	一定時間、キー入力がない場合	時間
Lv1	電源オフ	15 分
Lv2 (デフォルト)	電源オフ	30 分
Lv3	電源オフ	45 分
Lv4 (カスタム可能)	電源オフ	60 分
OFF	—	—

電源オフ：自動的に電源をオフします。電源ボタンを使用して電源をオンすると再接続します。

* USB 給電中は、自動電源オフしません。

* Lv4 の動作は、専用ソフトウェアを使用してカスタムすることが可能です。
カスタム設定では、無線オフ (自動的に無線をオフ、いずれかのキーを押すと再接続) や、
常時電源オン (電源および無線の自動オフを無効) を選択することも可能です。

* エコモード設定にかかわらず、ペアリングモードでは 3 分、登録機器に接続できない場合は 1 分で、
自動電源オフ (常時電源オン設定の場合は、無線オフ) します。

* 初期設定は Lv2 となります。

専用ソフトウェア

専用ソフトウェアをご利用いただくことで、さらに多くの機能をご利用いただくことができます。
以下のサイトからダウンロードしてご利用ください。実行後、画面の指示に従ってインストール
してください。
<https://www.realforce.co.jp/>

2

4

6

8

各部の名称と働き

操作	動作
電源オン	電源オフ時にスイッチ押下で、電源オンします。 ・接続履歴がある場合 ⇒ 最終接続先へと自動接続します。 ・初回起動など、ペアリング情報が登録されていない場合 ⇒ 自動的にペアリングスロット 1 とのペアリングを開始します。 USB ケーブル接続時は USB 接続状態になります。 USB 未接続時に動作しない場合は電池残量がない可能性がございますので、 USB ケーブルを接続し充電してからご使用ください。
電源オフ	電源オン時にスイッチ長押しで、電源オフします。(3 秒以上)
接続中スロット 確認	電源オン時にスイッチ短押しで、接続中スロットを確認します。

充電について

はじめに使用するときや使用間隔が開いているときは、使用前に必ず充電を行ってください。

1. USB Type-C コネクタに USB ケーブルを接続してください。
2. 充電中は LED インジケータが橙色に点灯します。
3. 充電完了時は LED が消灯します。

* 長時間使用しない場合でも機能を維持するために、3 ヶ月に 1 度は充電をしてください。
* 周囲の温度が 10℃〜30℃の環境で充電してください。これ以外の環境では、効率の良い充電が
できないことがあります。
* バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれてバッテリーの
持続時間は少しずつ短くなります。また、バッテリーの寿命は、保管方法や使用状況、環境
などにより異なります。
* パソコン本体の電源が切られていても本製品の電源が ON になっていると、バッテリーが
消費されます。
* バッテリーの消耗を抑えるために、本製品を使用しないときは電源を OFF にしておくことを
お勧めします。
* 所定の時間 (4 時間) を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。

キーボードを使用する (USB 接続)

1. 付属の USB ケーブルをパソコン本体の USB ポートとキーボード本体に接続してください。
2. 製品の電源がオフの場合は電源スイッチを押して、製品の電源をオンにしてください。
3. お使いの OS によって自動的にキーボードが認識され、ドライバがインストールされます。
インストールにはインターネット接続環境、Windows Update へのアクセスなどが
必要になる場合があります。

2

4

6

8

本書では、本製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、以下のような表示をしています。

警告表示	説明
	この表示は、取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される内容です。
	この表示は、取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される内容です。
	この表示は、取扱を誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
	三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。
	丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。
	黒塗りの丸白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

安全にお使いいただくために

本製品に関する重要な警告事項は以下の通りです。

本製品を安全にご使用いただくために、以下の記載事項を必ずお守りください。

△危険

	本製品は防水仕様ではございません。水、海水、飲料水などの液体で濡らさないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
	高温になる場所（火のそば、暖房機器のそば、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など）や低温になる場所、または、標高が高く気圧が低い場所等、キーボードや電池を使用、保管、放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。
	キーボードや電池を燃やしたり、火の中に投げ込まないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
	キーボードや電池に釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたり、機械で押し潰したり、切断したりしないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
	保護機能を無効にする可能性ある、誤った種類の電池（例、一部の種類のリチウム電池）を使用しないでください。電池の発熱、破裂、発火の原因となります。
	USB Type-C コネクタに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入らないようにしてください。発熱、破裂、発火の原因となります。
	電池の液体が漏れた場合は、顔や手に触れないようにしてください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。万一、液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。
	製品を廃棄以外の目的で分解、改造しないでください。発熱、破裂、発火の可能性があります。※他社のバッテリーは絶対に使用しないでください。

9

△警告

	以下のような場合には、直ちに電源をオフにし使用を中止してください。本製品を接続している USB ケーブルを取り外し、電池は発熱などの異常がないことを確認したあと、やけどに注意した上で本製品から電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。 - キーボードを落下させた場合 - キーボードから発煙したり、キーボードの外側が異常に熱くなった場合 - 異臭がする場合 - キーボード内部に異物（液体、クリップなどの金属片など）が入った場合
	電池の液体が漏れたり、異臭がする場合は、直ちに使用を中止し、火気などの引火の危険性から遠ざけてください。電池の破裂、発火の原因となります。
	キーボードを分解したり、改造しないでください。キーボードをご自身で分解した場合は保証の対象外となり、分解によって発生するいかなる損害に対しても当社は一切責任を負いかねます。
	本キーボードは国内専用です。海外では使用しないでください。
	以下のような高温、多湿の場所や換気が悪くほこりの多い場所には、キーボードを設置しないでください。高温によって、カバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、漏電や火災の原因となることがあります。換気、通気性の良い場所で使用してください。 - ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすい物に近い場所 - キッチンなどの油煙が発生しやすい場所 - 風呂場、シャワールーム、プールなどの水場 - 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、暖房機の近くなどの高温になる場所
	お召様が安易にケーブルに触れないようにしてください。誤って首に巻きつけると窒息の原因となります。また、キーキャップなどの小さい部品はお召様が安易に触れないようにしてください。誤って飲み込むと窒息の原因となります。
	自動車を運転中にキーボードを使用しないでください。事故の原因となります。
	清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがキーボード内部に侵入し、故障の原因となることがあります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火する恐れがあります。
	電波利用が制限されている場所（医療施設など）では、その場所の指示に従い、使用しないでください。電子機器や医療用機器、植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）に影響を及ぼす場合があります。これは電波利用機器としての一般的な特性であり、キーボード特有の特性ではありません。
	重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
	航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式キーボードを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にキーボード本体の電源を OFF にし、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします ※ 本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

10

△注意

	落下などにより思わぬ事故となる場合がありますので、平らで滑らない場所に設置してください。落ちたり、倒れたりして、怪我の原因となることがあります。
	小さなお子様の手が届く場所には設置しないでください。怪我の原因となります。
	キーボードの上に重い物を置いたり、キーボードの上で作業をしないでください。故障や怪我の原因となります。
	強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避け、床材やセットする机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。静電気によって、キーボードが誤動作することがあります。
	キーボードとコンピュータ、またはモバイル機器は出来るだけ見通しのきく場所にセットすることを推奨します。電波を遮るような障害物（壁、金属の板など）があると、通信が出来なくなったり、通信速度が遅くなることがあります。
	寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、キーボードが結露することがあります。そのまま使用すると、入力不良の原因となりますので、暖かい部屋に 1~2 時間程度放置して、内部が乾いてから使用してください。
	雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。万一キーボードが濡れた場合はふき取るか時間を置いて乾いてから使用してください。
	本製品の USB ケーブルは濡れた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因となります。
	USB ケーブルを抜き差しする場合は、必ずコネクタ部を持ち無理な力を加えないでください。火災や感電の原因となります。
	本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。 ※「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。
	本製品規格以上の USB 変換 AC アダプターなどを使用して充電しないでください。発熱、破裂、発火する可能性があります。
	雷がなっているときに、本製品に触れないでください。落雷により感電する恐れがあります。

11

■電池についての注意事項

- 異なる種類の充電電池を接続しないでください。発熱、破裂、発火の可能性があります。
- 電池に熱を加えないでください。また分解したり水中に投入したりしないでください。
- 故障時やバッテリーの異常で修理を希望される際は、カスタマーサポートまたは購入店舗へ連絡し指示の通りに対応を行ってください。
- 破棄方法を誤ると、運送中や処理施設などで、破裂や発火の原因となります。破棄する際は【本製品を破棄する場合】、【リチウム電池取り外し方法】をご確認ください。

■お手入れのしかた

本製品が埃などで汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

■本製品について

本製品のスイッチ部には円すい状のバネが入っています。稀にキーを押下する際にバネの音が発生することがあります。また、キーにより打鍵感や打鍵音には個体差があります。入力等の機能に影響はありませんので、ご了承ください。

Windows またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。Mac、macOS は、Apple Inc. の商標です。Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。Android は、Google LLC の登録商標または商標です。その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

12

【本製品を破棄する場合】

本製品に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルできます。

本製品を廃棄する際、リチウムイオン電池を取り外しリサイクル協力店へお持ち頂くか購入先へお問い合わせください。

充電式電池の回収・廃棄についてはお住まい地区の自治体の指示に従ってください。

■リチウム電池取り外し方法

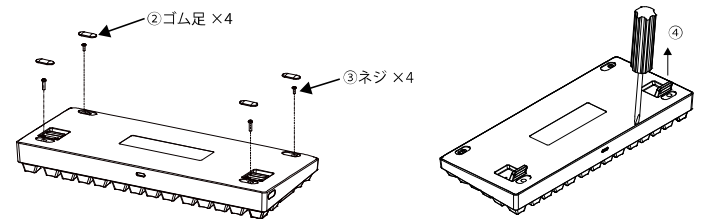
	この作業は修理のための図ではありません。廃棄時以外で分解をおこない故障した場合、保証対象外となりますので、廃棄時以外では行わないでください。
	バッテリーを取り外すときは、小さなお子様の手がとどかない場所で作業を行ってください。誤ってネジなど小さな部品を飲み込む可能性があります。
	バッテリーを取り外すときは、曲げたり穴を開けたりしないでください。
	下ケースを外す場合は、けがをしないよう充分に注意して作業を行ってください。

①電源がオフになっていることを確認して下さい。

②本製品に取り付いているゴム足を 4 個剥がしてください。

③プラスドライバーを使用し、ねじを 4 個取り外してください。

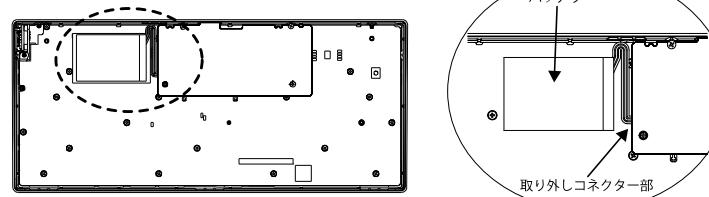
④レッグを開いた状態で引っ張りながらケースの隙間にマイナスドライバー等を入れ、爪を外してください。



⑤基板に接続しているバッテリーのコネクタを抜き、下ケースを外してください。

下ケースから電池を剥がしてください。

※取り外した充電電池のコネクタはビニールテープなどで巻いて絶縁してください。



13

【故障・修理・お問い合わせ】

REALFORCE カスタマーセンター

ホームページからのお問い合わせ <https://www.realforce.co.jp/>



14